

# 郷の集い

行 文 部 平 所  
校 護 任 五  
編 集 者 所  
福 崎 印 刷  
久 野 印 刷

## 卒業生におくる

学校長 北川 耕造

卒業生の皆さん、卒業おめでとございます。

皆さんが一年生に入学した一九六四年七月に、アメリカのレンジャー七号が初めて月の近接写真に成功し、一九六五年三月、ソ連のレオーノフがウオースホート二号から出て初の宇宙遊泳を、一九六六年一月同じくソ連の月九号があらしの大洋に、世界で初めて着陸しました。一九六七年一月、アメリカのアポロ宇宙船が発射台で、火事を起こし三人が焼死、四月ソ連ソユーズ一号墜落、コマロフ死亡、初の宇宙事故でした。一九六八年十月、アメリカのシラー、アイズリーカニンガムの三人が乗ったアポロ七号が打上げられ、一九六九年七月、アームストロング、オルドリッジ飛行士によって、人類初の着陸がなされ、月を歩きました。わが国もおくればせながら、二月十一日国産初の人工衛星打ち上げに成功したことは、記憶も新たなことです。

以上の手短かにこの六十年間の宇宙開発の跡をたどってみました。何となく大きな変りようでしょう。

皆さんはいよいよ四月から、あこがれの中学校へ進まれるわけですが、ここでよく考えてほしいと思います。今の皆さんは山登りやスキー、ようやく一合目が二合目にたどりついたりして遊んで、世界で初めて着陸しました。一九六七年一月、アメリカのアポロ宇宙船が発射台で、火事を起こし三人が焼死、四月ソ連ソユーズ一号墜落、コマロフ死亡、初の宇宙事故でした。一九六八年十月、アメリカのシラー、アイズリーカニンガムの三人が乗ったアポロ七号が打上げられ、一九六九年七月、アームストロング、オルドリッジ飛行士によって、人類初の着陸がなされ、月を歩きました。わが国もおくればせながら、二月十一日国産初の人工衛星打ち上げに成功したことは、記憶も新たなことです。

龍馬が青年時代のことで、ある日若い侍たちが集まり、オランダ語の先生をまねいて、政治のことを書いたオランダ語の本の講義を聞いていました。先生はオランダ語の本を前に置いて、一通り読み上げては、日本語に訳していくので、講義がかなり進んだところ。「先生ちよつとお待ちください。」と龍馬が声をかけました。「なんだ」「先生の今お訊なされた所はまちがっているようです。もう一度よくお調べください。」先生はひとつとしました。「坂本お前はオランダ語が読めるのか。」「いいえ読めません。」「それでどうしてわしの講義がまちがっているのかわかるのだか。」「すると先生はまちがっていないとおっしゃるのですか。」「そうだが、ではきつとそのオランダ語の本にかいてあることが、すじみちが立っていないのでしよう。」「そう言われて、先生はあらためてよく読みな

おしてみると、自分の訳し方がまちがっているのに気がつきました。「なるほどこれはわしのあやまりだ。」「といさぎよくかぶとをぬいだそうす。

たえ先生のいわれたことも、そのままのみせず、自分の頭で考えみなければならぬ。龍馬の態度は見上げたものだと思います。かたくなになつてはいけません。自分の考えは大切にしたいものです。

宇宙開発の歴史を見てもわかるように、学問の道に足とびは許されません。皆さんは宇宙時代にもあつて、希望を大きくもつて、一歩一歩、着実に自分の道を進んでいただきたいと思ひます。

## 御卒業おめでとう

愛護会長 森川 俊徳

本年度卒業の十四名の皆さんは六年間一生懸命に勉強され、たゞ卒業する事になりました。六年の間は色々な思い出が走馬燈の如く頭の中を駆けめぐり、馬の態度は見上げたものだと思います。かたくなになつてはいけません。自分の考えは大切にしたいものです。

宇宙開発の歴史を見てもわかるように、学問の道に足とびは許されません。皆さんは宇宙時代にもあつて、希望を大きくもつて、一歩一歩、着実に自分の道を進んでいただきたいと思ひます。

## おめでとう

角屋 小木 隆一

六年生の皆さんいよいよ一学期の時々となりつた先生待望の中学に進学することになりましたね。早六期間の親しみのある先生と、それ卒業も後僅かになりました。思い出してみますと小さな胸に始めて学校に行ける喜びを胸一杯ふくらませて「お母さん行って来ませう」と素直に言つて、大きなランドセルを横にゆきまわつて走つて行った姿が目に入り、そのことが又昨日のよう思えてなりません。

こんなこともあつたのに今は結構口ごたえや、理名も一人一人が勉強に努力屈を並べようになつて来ました。師の恩は、山より高く海より深く申しあげますが、幼稚園に池田先生、一年生から北島先生、脇谷先生、佐藤先生、そして現在岩城先生とお世話になりました。いつも歌や遊戯を一語にして下さった先生、お姫様のように静かで怒りを知らない先生、大きな

## 卒業特集号

### 私達はお蔭様で卒業する事が出来ました

空のように広くすみきつた心の持ち主に広げたい。山崎 真一

失敗しても努力をかきねる人になりたい。大森 健治

苦しいこと悲しい事があつてもくじけない人になる。車野 慎一

将来正直でせい一ぱい努力する人になる。森崎 雅彦

人から尊敬され見上げられる人になりたい。高辻 佐由美

## ありがとうございます

宮前 齊藤 時子

長女長男の胸ぐらにませて此の学校に寄せていただいたので、早六期間の成長を見るとき、先生方の御苦労が感謝されます。

あの日たづなざかりの西も東もわからぬ子供たちがのびのびと成長し、今日のよき卒業式を迎えました。と、喜びのあまり胸一杯に成つてきます。どうも長らく有難うございました。

## 卒業に想う

中浜 藤島 ますえ

この喜びをいつまでも忘れず子供達の励ましを言葉にしたいと思ひます。

卒業に想う

手をはいて入学させた時、右も分らず文字だつて知らなかつた子供を、今では学問知識の基礎も人の踏み行なう道も身につけ、立派に成長し、ここに目出度く卒業出来ます。校長先生始め諸先生、PTAの皆さんの親身に及ばぬお骨折りを頂きました。お返しに、誠に感謝に絶えず。一年生から六年生まで春は遠足、夏は海水浴、秋は運動会、冬には学習発表会と子供にとつて楽しく遊んだ教室、又一生懸命走つた運動場、数々の思い出を胸に秘め一生忘れることには出来ません。厚く厚く御礼申し上げます。





# わが子の卒業

宮前高辻芳子

月日のたつのは早い事、合う事の絶え間のない事はランドセルを背に胸ふくらませ希望新たに母親につられて行つたあの日から今日までの六年間、まるで夢のようにして。

この間、特別の問題もなく無事卒業出来た事は「私たち母親としましては、私たちが喜びで御座ります。これほどに暖かい先生方の御指導の賜又関係者皆様方の御恩の賜と深く感謝致して、おります。

文明の発達と共に社会の移り変りの激しさ、又平和と言えども憎しみと傷つけ

# 六年間の思い出

小島彰徳

小学校に入学してから今まで長い様だったが、あつと言う間に過ぎてしまった。いたずらをして先生にかられたり、良い事をしてほめられたりした。うれしかった時、悲しかった時、くやしかった時などいろいろあつた。

六年間にはいろいろな流行語もはやつた。それを学校で使つてしまつた事も度々あつた。その度になぜ使つてはいけないのかなあと思つたりした。

この六年間、東京オリンピックをはじめ万国博、我が国で開かれた「国体」人類初の月面の探検、日の丸衛星が初めて上がる等いろいろな重大なニュースがあつた。

# 思い出

車野慎一

ぼくがこの六年間で一番だいたい遠く三〇分程かかつて歩くのだ。印象に残つてゐるのは町の人ほめられた事だ。それは毎日妹と二人で夏は六時半に家を出てバスに乗る。冬は七時五〇分に家を出る。バスに乗る事だ。一番苦しかったのは冬大雪に苦つた。バスが出なくなり学校へ歩いて行く事があつた事だ。往復とも歩いた事もあつた。

そのたびに学校におくれば、事度々であつた。バスが出ないで歩いて行くと、おくれで来たバスが止つて乗せてくれる時もある。又小さい学年の時いつも横に学校道を歩いて行くと、グープが来ては横に止まりドアを開けて若い青年が

「ゴッゴ。」  
「とものすい雨風が吹いてる日があつた。その時も学校へ行つた。かさを半分にしてきて行つた。その後の方から耕運機が来て乗せてくれた事もあつた。ぼくの家は三國の駅から

# 幼稚園

宮前北林靖子

この二年間をふりかえつてみると、あつと云うまに過ぎてしまつた。私達親として又子としてまず第一歩を踏み出したわけですが、なに一つ子供に教えることとなく、又母親学級に行くたびに感じるほどとうとうなすことばかりです。かと言つて家に帰ればななく、その通りにならない我子、又親の言うことだけきくので

「いい。」  
「とことわつた事もあつた。こつちの事ばかりの心に強く残つてゐる。

「のせてやる。」  
「と言つたが、ぼくはうかがい深く心の中でささいいかなあと思つた。

# 記念品

## 三点

一、本年度の卒業生の皆様は母校に立派な記念品を贈られました。

一、トランジスタ  
メガホン 一台

体育実技指導 水泳訓練 校外学習に十分に活用させていただきます。

二、母親学級の皆さまから立派な記念品を頂戴しました。

一、柱時計 一台

# おとなの知らないことを知るために

本荘駐在所

少年を正しく導くためには少年の現実の姿を正しくつかふ、理解してあげなければならぬと思つています。ところが、このわかり切つたところが、なかなか行なわれていません。どこの親でも、自分の子供が悪いとは思ひたくないものです。そこで、毎日自分の前だけで見ている子供達の行動を本當のものだと思ひ込み、「うちの子に限つて大丈夫。」という間違つた理解を勝ち取つた。その晩、食事がすんだから、私と子供達とはんな会話をかわした。「一陽」とも和夫も、毎日外でなにを遊んでるんだね」「なつて、いろんなことをしているよ。野球だつてピョンだつて。」私の問いに、一陽がそう答えた。「チャンバラごっこだつて、ギャンゴごっこだつて、どつちが、兄ちゃん」「弟の和夫が横から口をはさんだ。「じゃ、どつちを書いた紙は、ギャンゴごっこをするときに使うのかい」笑いながら私の質問に、一陽と和夫もあつ、見つかつたやつたか、といふやうなしくぐで顔を見合せたが、

# 母親学級の

うら話

過ぎ日の母親学級の運営委員会の席で母親学級の事について雑談が出て来ました。話題はこのごろの母親学級は大変低調になつて来ているがその原因はどこにあるのだろうか。との話し合ひでした。その中に出て来た話題を少しばかり御披露致します。

〇教育ママに対する批判が強まりこの校下には教育ママが少なくなつて来たので教育に熱が入らなくなつた。

〇働くお母さんが増えたので出席が悪くなりつあるから、母親学級の回数へらしたらどうだろうか。

〇何人も子供を持つと学校の内容が良くなるわかつてしまつてあまり関心がなくなる。

〇教室で話すお母さんはきまつているが、廊下や掃り道で話し合ひはそれは活発である。これを教室にもちこめたいものだろうか。

〇子供の勉強振りを眺める事はとても楽しい。

来年の母親学級はこんな話し合ひが出来ない様に皆さんで立派に育てましょう。

# 母親学級修了者



藤山ひめ子 一二年  
斎藤時子 一二年  
橋本みち子 七年  
小木ちえ子 九年  
小木ひめ子 九年

森崎春子 二三年

右記の皆さんは御子様成長と共に新郷校の母親学級と愛護会から離れられて

月御苦労様でした。  
尚新春からは五名の新人学級生をお迎えして頑張つて行きたいと思ひます。

行きませす。新春からは委員会として御協力願う事になつています。本当に長い年月御苦労様でした。